

○水生生物モニタリング調査結果一覧（新田川E）

<新田川E 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
E-2 a	○	○	○	○	○	○

<新田川E 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R5.8.31	12:56	13:04	30.2	29.0	シルト混砂	5Y4/2	なし	0.67	23

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R5.8.31	12:56	7.2	0.7	5.2	8.2	7.9	0.04	2.5	14	14.9	0.0017	0.12	0.0015

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R5.8.31	13:04	7.4	450	22.3	2.0	3.7	2.650	9.6	39.2	39.5	2.4	3.4	5.9	0.83	4.8	8.4	440	0.19

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<新田川E 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
E-2 b	新田川本流	37.6635°	140.9452°	R5. 8. 26	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.012	—	—	—	200	N. D. (16)	200	—	
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	53	0.011	幼虫	—	—	—	63	N. D. (13)	63	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	34	0.012	幼虫（ヤゴ）	—	—	20	N. D. (5.0)	20	—	
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Davidius</i> sp.	ダビドサナエ属										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Shaogomphus postocularis</i>	ホンサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ										
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	60	0.035	幼虫	—	—	21	N. D. (1.7)	21	—	
					節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	2	0.039	成体	—	—	22	N. D. (4.3)	22	—	
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	202	0.26	成体	—	—	16	N. D. (1.5)	16	—	
					節足動物	軟甲	エビ	ヌナエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	118	0.030	未成体/成体	—	—	15	N. D. (3.3)	15	—	
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	23	0.39	未成体	—	—	25	N. D. (1.2)	25	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.39	成魚	モクスガニ・コオニヤンマ	内臓除去	18	N. D. (1.2)	18	—	
					脊椎動物	硬骨魚	カサガ	カサガ	<i>Cottus reinii</i>	ウツセミカジカ	5	0.067	未成魚	—	—	14	N. D. (2.4)	14	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	11	0.23	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	16	N. D. (1.5)	16	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	290	1.3	未成魚/成魚	—	—	13	N. D. (1.3)	13	0.59	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	カマツカ	3	0.049	成魚	—	—	9.0	N. D. (1.1)	9.0	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	90	0.43	未成魚/成魚	—	—	9.7	N. D. (1.2)	9.7	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	3	0.46	未成魚	不明消化物	内臓除去	8.2	N. D. (1.3)	8.2	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	タモロコ	44	0.14	未成魚/成魚	—	—	9.9	N. D. (1.4)	9.9	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	ニゴイ	10	0.096	未成魚	—	—	9.4	N. D. (1.7)	9.4	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	33	0.56	未成魚/成魚	—	—	47	N. D. (1.2)	47	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	106	0.26	未成魚/成魚	—	—	12	N. D. (1.1)	12	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ										
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius</i> sp.	ヨシノボリ属										
脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマス															
脊椎動物	両生	無尾	アメリカカガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	14	0.088	幼生（オタマシヤシ）	—	—	223.8	3.8	220	—						
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.25	—	—	—	66	N. D. (1.5)	66	—						

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。